

# 「ガスで未来を創造する」 人に、町に、地球にやさしい 産業ガス専門商社

巴商会

巴商会(大田区蒲田本町、深尾定男社長、03・3734・1111、<http://www.tomoshokai.co.jp/>)は電化製品に欠かすことができない半導体をはじめ、自動車や食品、医療、環境、宇宙技術に至るあらゆる分野の製品に利用される「産業ガス」の専門商社であり、メーカーの系列に関係なく国内外から調達することで、お客様へさまざまな商品の提供を可能にしている。また、関連する設備の工事や運送・保安・管理まで一貫したサービスを行っている。

「産業ガス」というイメージしにくいのが、例えば携帯電話、タブレット端末、パソコン、テレビなどの液晶画面に、窒素、水素などの高純度ガスや混合ガスのほか特殊材料ガスが広く使用されている。私たちの生活にも身近なものとして、ビールなどには炭酸ガス、お菓子やパンの袋には品質保持の封入ガスが使用されている。

また、同社では、産業用ガスだけでなく、メデイカルサービス部では酸素や液体窒素、滅菌ガスなどの医療ガスを手がけ、少子高齢化社会の中でますます必要性が高まる在宅医療に力を入れている。その中で、約8割を占めるのが在宅酸



野鳥公園でのボランティア活動

素療法である。病気が原因で十分な酸素を取り込めない患者さんのために、病院を通じて携帯用酸素ボンベや家庭で使用できる酸素濃縮装置のレンタルを行っている。

地域と連携したお客様のケアという点では、地元のボランティア活動や清掃活動に積極的であることも特色だ。環境保全活動にも取り組み、酸素の力を利用して大田区を流れる呑川の浄化実験を実施した。下流から取水し、高濃度酸素溶解装置を通過させてできた高濃度酸素水を上流から川底に放流。酸素を多く含んだ水の層が下流へ広がることを確認され、悪臭の原因となる硫化水素の発生を抑え、水質を改善するための有効なデータを取得した。薬品を使わず、「お客様のためになることをする」という理念どおり、人にやさしい酸素で私たちの町を守っている。



呑川水質浄化実験を行った高濃度酸素溶解装置